

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 6 年度 相武台地区まちづくり会議 第 4 回全体会		
事務局 (担当課)		相武台まちづくりセンター 電話 0 4 6 - 2 5 4 - 3 7 5 5		
開催日時		令和 7 年 3 月 2 4 日 (月) 午後 6 時から午後 7 時 2 0 分まで		
開催場所		相武台公民館 2 階 大会議室		
出席者	委 員	2 4 人 (別紙のとおり ※重複含む)		
	その他	0 人		
	事務局	4 人 (アセットマネジメント推進課、相武台まちづくりセンター)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	2 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 会議の傍聴 3 会長あいさつ 4 議題 (1) もえぎ台小学校跡施設活用に向けた市の考え方について (2) まちづくりを考える懇談会の振り返りについて (3) 令和 7 年度 活動計画書 素案について (4) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項 5 その他		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 会議の傍聴

傍聴希望者が2人おり、会議に諮り傍聴が許可された。

3 会長あいさつ

会長よりあいさつがあった。

4 議題

(1) もえぎ台小学校跡施設活用に向けた市の考え方について

担当課より資料について説明を行い、次のとおり意見等があった。

(根本委員) 組合施行による土地区画整理事業とのことだが、市は地権者として組合に対して話ができるのか。組合側の動きはどうなってるのか。

(市) 今後、地権者に利用意向を確認するアンケートをすると聞いている。土地区画整理事業としては、土地利用を検討する準備段階と考える。

(根本委員) 市と検討を進めても組合の動きに引っ張られるため、組合の動きを情報共有してもらいたい。暫定期間もわからないようでは検討ができない。

(市) 区画整理事業を担当する課と連携し、スケジュールなどを確認し、知り得た情報は共有するが、現在は不明なことが多い状況である。

(根本委員) 事業が長引くと事業環境が変わってしまうため、組合はスピード感をもって進めると思うが、事業が進むよう市からも後押しをしてほしい。

(荻原委員) 説明はよくわかったが、示された市の考え方というのは、市街化調整区域から市街化区域への編入を前提とした考え方という理解でよいか。

(市) その前提であれば、集約する施設を具体的にお示しできたが、本日はお示しできていない。青葉小学校の事例だが、跡施設は高齢者施設になると聞いているという方が多くいた。おそらく、昔に説明した内容が、他の方に伝わる際に何かしらの「前提」が抜けて伝わったのかなと思っており、ある程度区画整理事業の動きが見えた段階で、具体的に施設等の説明をさせていただきたい。

(市) できれば来年度いっぱいまでに、ゾーニングや暫定的活用などの方向性の合意が取れればと思っている。来年度早々に説明に伺いたいと思っている。

(2) まちづくりを考える懇談会の振り返りについて

次のとおり意見等があった。

(根本委員) 来年度以降のスケジュールの説明があったが、具体的に進めていくに当たり、まちづくり会議の場で進めるイメージなのか。言葉を選ばず言うと、意見が出ない中で、市と対峙していくのはどうなのかなと感じた。

(浅田会長) 本日は説明を聞く場であり、内容もまだ具体的でなかった。進め方

についてはまだイメージがなく、皆さんから意見をいただければと思う。

(根本委員) 期限を区切らないと意見というものは出てこない。組合がゆっくり進めるとは思っておらず、相手の動きを見ながらでは、やれることが限られてしまうのではないかな。意見が出るような体制にしてもらいたい。

(浅田会長) 誰が集まって、どうやって意見を出していくかを検討する場を設けたい。受け身になっていると、聞いているだけで終わってしまう。

(遠藤委員) せめて会議の1週間前には資料を出してほしい。資料を読み込んで集まるだけでも、意見の量は変わってくるのではないかな。→(市) 対応する。

(迫委員) 市の考えは、ゾーニングでエリアを示されただけで真新しさはなかったと思う。我々がやるべきことは、地域課題解決エリアで「街の駅化工画」を進めていくことができるのか精査し、議論していくことだと感じている。

(笹原委員) 最短で1年間かけて検討するとのことだが、例年どおりのまちづくり会議のスケジュールではやっていけないので、こちらで率先して予定を立てていく必要がある。「街の駅化工画」を骨子とし、密に話し合って意見交換をしていかないと、市や組合と話ができないのではないかな。来年度の1年間については、特例的にでも話し合っける場を設けてほしい。

(浅田会長) 全体会は4回の開催としても、密に検討を進める別の会議体を設けるイメージである。メンバーとしても全員が集まるのは大変なので、コアメンバーで頻繁に集まれるようにしたい。体制については、役員会で考えたいと思うが、オブザーバー的に誰かに入ってもらえるかもしれない。

(根本委員) 次回までに、市にどの程度の頻度で対話を想定しているのか確認し、その想定に対して意見を伝えていければと思っている。

(3) 令和7年度 活動計画書 素案について

会長より資料について説明を行い、次のとおり意見等があった。

(浅田会長) 先ほども意見があったが、もえぎ台小跡施設活用の今後の検討について、専門部会を設置する否か。まずは皆さんの意見を伺いたい。

(笹原委員) 正直なところ、どう進めていけばいいのかわからない。図書館分館のあり方検討については既に専門部会があるが、「街の駅化工画」の中には分館を移設する意見も出ている。そこで別の専門部会を設置してしまった場合、それぞれの専門部会でどのように検討を進めていくのか。「街の駅化工画」は様々な意見を集約する内容であるため、最短1年間の検討をどう進めるのか一本の筋を決めないと、専門部会の設置も含め議論が進まないのではないかな。

(迫委員) 懇談会の発表に向けて、平成30年にまとめた地域の課題を確認したところ、期限のある課題がもえぎ台小の跡施設活用であった。これを懇談会のテーマとしたところ跡施設の話だけになってしまっているのだから、相武台地区が抱える課題について改めて認識し、順位付けをしてもよいのではないかな。

(根本委員) 前提条件は違うが光が丘地区の青葉小の事例があるので、どれぐらいの頻度で、どのような体制で進めたのか。その実績を確認してはどうか。

(浅田会長) そういったことは確認できるのか。

(市) 既に実施しているので、アセットマネジメント推進課に確認し、どのような進め方であったのか聞くことは可能である。まとめたものを会長にお送りするので、LINEを活用すれば早めに皆さんで共有することができると思う。

(笹原委員) 直接、光が丘地区の方々と話をすることは可能か。

(市) 可能だと考える。光が丘地区と調整をしてみる。

(浅田会長) 専門部会の設置についてはまだ決められないため、まずは光が丘地区の事例について共有をしたいと考える。

(宮田委員) LINEの活用することは問題ないが、使っていない人もいるため寄り添った対応が必要で、しっかりと全員に連絡がいくようにしてほしい。

(高橋副会長) 現在、3つの専門部会があるが、もえぎ台小の跡施設活用についても専門部会を設けるべきだと考えている。分館の専門部会の検討では、今の場所で建て替えるか、別の場所に移転するか の二つの方向性が出ている。もえぎ台小跡施設に移転するべきだと意見に集約されれば、内容的に跡施設の専門部会と分館の専門部会が一緒になり、1つの専門部会にできると思う。

(根本委員) 分館の専門部会は、市とどのようなやり取りをしているのか。市へ意見を伝えることはできているのか。

(高橋副会長) 市の意見は聞いていないが、地域の意見を伝えている。

(笹原委員) 専門部会で検討すると、その後はどのような動きとなるのか。

(宮本副会長) まちづくり会議に報告され、その場でも議論されることとなる。

(高橋副会長) この場で話をしても進まないと感じており、専門部会を設けるべきだと思っている。構成員などは皆さんと検討して決めていきたい。

(根本委員) 分館の専門部会は来年度中に意見をまとめるようだが、もえぎ台小の跡施設に移転しないこととなった場合は、動きが異なるということか。

(高橋副会長) 跡施設の専門部会と分館の専門部会は別々に検討をするので、方向性が異なれば、専門部会として一緒になるということはない。

(小林委員) もえぎ台小の跡施設が教育財産ではなくなるとのことだが、図書館は教育財産ではないのか。また、分館の土地は売却されるとどうなるのか。

(遠藤委員) 以前の仕事であったため説明するが、現在、分館の専門部会で議論していることは、もえぎ台小の跡施設に移るのか、別の場所なのか、今の場所で存続するのかということ。跡施設に移るのであれば、普通財産から教育財産に戻せばいいだけで難しい話ではない。売却後は市の財産ではなくなるので規制をすることは難しいが、立地的に買い手がいないのではないかと考えている。

また、分館の専門部会を立ち上げた経過としては、まずは相武台地区の意見

を聞いて、まとめたものを教育委員会に報告してもらい、そこから行政とのキャッチボールが始まるという流れであったと承知いただきたい。

(荻原委員) 図書館を跡施設に移設するのであれば、基本的には行政課題のエリアに入るので、地域課題のエリアには影響しないという認識でよいか。

(遠藤委員) 地域の要望の仕方で、両方考えられると思っている。行政が対応すべきものと要望して、行政課題のエリアに入れることもあれば、分館をそのままの機能ではなく、地域の意見を反映した機能強化を要望して地域課題のエリアに入れることもあるのではないか。青葉小の事例では、行政が示した当初案を地域が押し返し、様々な機能を入れられることになったと聞いている。

(浅田会長) 跡施設については、テーマを絞って集中して議論していくために、メンバーは別途考えるとして、専門部会を設けて進めることとしたい。

- (4) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項
意見等はなかった。

5 その他

- (1) 令和7年度のまちづくり会議の予定

- (2) 相武台地区まちづくり会議委員 変更報告書

会長より資料について説明を行い、意見等はなかった。

- (3) 参考資料 (odakyu NEWS RELEASE)

会長より資料について説明を行い、次のとおり補足説明があった。

(遠藤委員) 皆さんのイメージとは違うかもしれないが、こういった複合施設はこれからは民間企業が入らないとできないと思っている。駅から近い訳ではなく、小田急電鉄が開業している理由が不明だが、参考として紹介した。

相武台地区まちづくり会議 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	浅田 聡	相武台地区自治会連合会	会 長	出席
2	高橋 孝雄	相武台地区社会福祉協議会	副会長	出席
3	砂村 久三子	相武台地区民生委員児童委員協議会	副会長	出席
4	宮本 憲雄	相武台公民館	副会長	出席
5	奥野 智	相武台地区自治会連合会	理 事	出席
6	長堀 直美	相武台地区自治会連合会	理 事	出席
7	小林 勉	南区安全・安心まちづくり推進協議会 相武台支部		出席
8	荻原 正人	相武台地区青少年育成協議会		出席
9	永井 保子	相武台公民館運営協議会		出席
10	迫 良寛	相模原市青少年指導委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
11	織田 和彦	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
12	宮田 亜美	相武台小学校 P T A		出席
13	白井 由美子	緑台小学校 P T A		出席
14	今村 貴子	もえぎ台小学校 P T A		出席
15	木村 由香里	相武台中学校 P T A		出席
16	宇治田 幸子	相武台こどもセンター		出席
17	荻原 正人	相模原市立相武台第 2 児童館	9 と重複	出席
18	高橋 尚	相武台地区老人クラブ連合会		出席
19	川崎 知恵子	相武台地域包括支援センター		欠席
20	溝口 興二	相武台団地商店街		出席
21	遠藤 誠	相模原看護専門学校		出席
22	浅利 達也	相模原市消防団南方面隊第 2 分団		出席
23	根本 健一郎	公募委員		出席
24	笹原 砂知子	公募委員		出席
25	小池 清史	公募委員		出席